

卒業生リレー寄稿 ⑩

「感謝」



専攻科衛生看護科卒

昭和49年3月

新名 文恵
(旧姓 多度)

私は、昭和44年衛生看護科へ入学
昭和49年に専攻科を卒業しました。

看護科の恩師である三好和子先生
に「看護科で働いてみない」と声を
かけていただいたのがご縁で、昭和
55年から平成26年までの34年間、飯
山高校・高松南高校で教員生活を送
り今年3月に退職いたしました。

南高校では、21年間お世話になり
ました。

南高校は、自然が一杯の学校です。
春は桜、秋は銀杏など、校庭の木々
や花など、四季折々に楽しませてく
れました。

今でも思い出すのは、ちょうど、
今頃の時期だったと思います。書道
教室の南側のフェンス沿いに生えて
いる、木苺やラズベリーを収穫し、
ジャムにしたことです。

自然を楽しませてくれたことに、
「感謝」します。

何よりも、沢山のひととの出会い楽

しかったこと。苦しかったことなど
沢山の思い出ができました。

出会ったすべての人々に「感謝」
します。

本当にありがとうございました。
最後になりましたが、母校の益々
のご発展をお祈り申し上げます。

「世界も自分も変える仕事」



普通科卒業

平成15年3月

上原 誠子

高松を離れて早10年が経ちました。

現在は国際協力関連の仕事に就いて
おります。偶然、職場に高松南高校
の先生からお電話をいただいたご縁
から、今回の「香友会だより」寄稿
に繋がりました。貴重な機会をいた
だきまして、感謝いたしております。

さて私は平成14年度に普通科を卒
業しました。高校時代より国際協力
や国際交流に興味がありました。が、
内向き思考の強い生徒でした。「英
語は苦手だから、国際協力の仕事は
出来ないだろう」「女性の就職口は
少ないのではないか」と何かと自分

で心配のタネを見つけてしまってい
ました。

しかしながら、開発途上国の現場
を見てみたい、現場を見てから進路
を決めてもよいのではないかと考え、
アイバル香川が主催していた高校生
タイ・ラオスタディツアーに応募、
参加しました。

ラオスで訪れた村での光景は今で
も忘れられません。子ども達が小さ
な長椅子を譲り合って座り、村に数
冊しか無い教科書を仲良く共有して、
学んでいました。私は日本での生活
を振り返り、何かにつけて言い訳を
して過ごしていた自分を恥じました。

そして、遠回りする事を恐れずに、
国際協力の領域で仕事とすると決意
を新たにしました。

その後、大学と大学院で心理学を
学び、卒業後はアフリカのセネガル
で2年間、HIV/AIDSの予防
啓発や陽性者のプライバシー保護、
無料検査の補助の仕事をしました。
またウガンダでは元子ども兵の社会
復帰プロジェクトの心理支援に関わ
りました。

さて「啖啄同時」という言葉があ
ります。啖とは卵からヒナが孵る時、
殻をつつく事を指します。啄とは親

鳥が外側から卵の殻をつつく事を言
います。この両者の行動が一致した
時、新しい生命が誕生するという意
味です。

高松南高校でお世話になった先生
方は、私にとってまさしく親鳥の様
な存在でした。生徒が進路を決めた
時、温かなご指導をしてくださるそ
のタイミングが絶妙だったと思いま
す。

今後国際協力の領域で仕事を続
けていきますが、大切にしたい事が
あります。高松南高校の先生方が行っ
てくださったように、一人一人に寄
り添った支援を実施できたと思ひ
ます。

「素晴らしい三年間」

平成22年3月

家政科卒

藤澤麻里菜

私が卒業して四年が経ちました。
今振り返っても涙ぐんでしまう程、
高校生活が楽しかったです。私の三
年間は無我夢中で過ぎて行き、浴衣
作りや食物検定など家政科でしか経
験出来ない貴重なことばかりでした。

授業と言えども皆真剣に取り組ん
でいて、分からない所は友達や先生
に何度も聞いたりして乗り越えてき
ました。逃げ出さずにチャレンジし

たからこそ今の自分があるのかもしれ
ません。卒業後は家政科でお世話
になっていた手芸販売店の本社で働
いています。今までは買い手側でお
世話になっていましたが、これから
は売り手側として関わってみたいと
思ったからです。仕事が辛くて辞め
たいと考えたこともありましたが、
逃げ出しても良い事は無いだろうし、
これ乗り越えることで自分が成長
できると考え今も頑張っています。
入学式のときには手芸用品の販売の
為、南高へ来させていただいていま
す。卒業後も大好きな南高へ来る機
会があり嬉しく思います。

授業以外でも得ることは多くあり
ました。特に人間関係についてです。
家政科で女子しかいないので、もめ
ることも多々あった気がします。そ
の問題を放置せずに、なんとかしよ
うと頑張った三年間でもありました。
高校生のときには関係がギクシャク
していた友達とも今では仲良く遊ぶ
事も多いです。高校生活の中で築く
交友関係は卒業後にも響いてくると
思います。もし、友達と気まずくなっ
ている後輩がいれば身近な友達や先
生に打ち明けて解決してもらいたい
です。南高には素晴らしい先生が本
当にたくさんいます。私の二・三年
生の頃に担任をしてくれていた先生
は生徒の気持ちを考えてくれて生徒
を大事に思っていてくれていたの
ではないかなと感じます。今でも学校